

業務概要書

1 業務概要

(1) 業務名

設計業務委託（河改・改良）

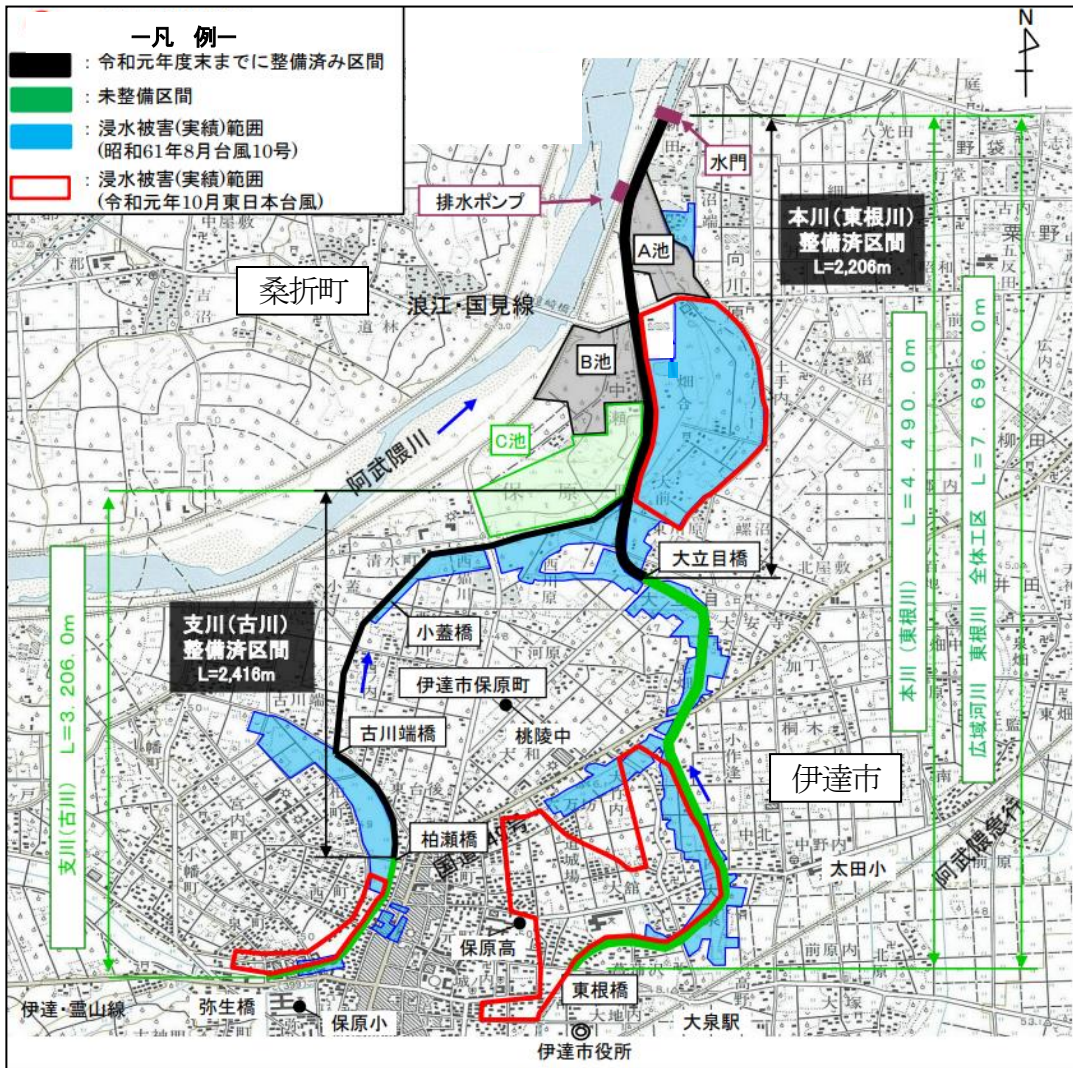
(2) 業務箇所

東根川筋 伊達市保原町中瀬地内

(3) 業務箇所に関する管内

県北建設事務所管内

【位置図】



(4) 業務内容

- ① 種 別 土木設計
- ② 業務内容 費用便益分析一式
(効果的な今後の整備の進め方の検討を含む)
対象河川：東根川 (本川) L=4.5km
(支川古川) L=3.2km
(東根川遊水地) V=109 万 m³
- ③ 工期 (予定) 令和6年8月～令和7年2月 (174 日間)

2 業務の背景・目的・課題等

(1) 業務の背景

東根川は、支川古川と合流後、阿武隈川へ流れる延長 21km、流域面積 41km² の一級河川である。東根川と古川の沿川には、伊達市保原町の中心市街地をはじめ、住宅地や農地が集中しており、出水時の浸水被害の軽減を図るため、河川整備事業を実施している。

東根川は、計画した L=4.5 km のうち 2.2km が整備済みであり、遊水地については、計画した 3 工区のうち 2 工区の整備が完了している。さらに、古川においては、計画した L=3.2km のうち 2.4km が整備済みであり、東根川全体において一定の整備効果を発現している。

しかし、昭和 61 年や令和元年などの出水時に、洪水による浸水被害が度重なり発生しており、更なる事業の進捗が必要となっている。

(2) 業務の目的

本業務は、事業実施中の東根川 (東根川遊水地を含む) 及び古川について、河川整備による費用便益の分析を行い、河川事業を推進するための基礎資料とするものである。

また、支川である古川を含めた東根川流域について、河川整備による治水安全度の向上を早期に図るための整備方法を検討するものである。

(3) 業務の課題

当該箇所は、本川工区、古川工区、遊水地工区それぞれに未整備区間があり、事業完了まで長い期間を要する。このため、早期かつ効果的に浸水被害の軽減が図られるよう、各工区の優先順位など今後の進め方を計画していく必要がある。

3 評価テーマ

- (1) 東根川工区、古川工区、遊水地工区における効果的な整備の進め方の検討にあたっての留意点